

「活躍する地域の代協」

都道府県代協レポートリレー

第69回

千葉県代協

「災害に強い代協を目指して」
業界の信頼性向上と地域社会の貢献を

千葉県損害保険代理業協会は、県内損害保険代理店の健全な事業発展と、地域における代理店の存在価値向上を目的に、幅広い取組みを推進しています。

自然災害リスクの高い千葉県においては、地域防災への貢献が代理店の社会的使命であると認識しています。

当協会では「災害に強い千葉県」をスローガンに掲げ、各市町村・自治会に対し、避難所体験やライフラインを使用しない生活体験の実施を呼びかけ、平時からの備えの重要性を提言しています。

同時に、代理店自身の事業継続体制整備にも注力しています。

商工会や保険会社と連携し、会員代理店を対象にBCP(事業継続計画)

また、日本損害保険代理業協会とも連携し、代理店経営サポートデスク、代理店経営未来塾、日本代協アカデミーといった制度を活用。会員代理店の独自教育体制構築を支援し、将来を見据えた代理店経営力・人材力の強化を後押ししています。

当協会は今後も、法令順守の徹底、後継者問題

策定や事業継続力強化計画認定取得に向けたワークショップを開催。

代理店業務品質の底上げを図るとともに、有事においてもお客様対応を継続できる体制づくりを支援しています。



さらに各支部活動においては、駅前や海岸清掃、献血活動、セミナー、レクリエーション等を通じて会員同士の親睦を深めるとともに

への対応、デジタル化を含む環境変化への適応など、代理店が直面する構造的課題に取り組みながら、業界全体の信頼性向上と地域社会への貢献を両立させ、千葉県における代理店の存在価値をさらに高めてまいります。

順守の徹底、後継者問題



に、代理店の品質向上につながる情報交換を積極的に行っています。

最近のセミナーでは、金融庁主催の損保業界有識者会議や、日本損害保険協会の第三者検討会の最新動向を踏まえ、今後代理店に求められる役割や社内体制強化に関連したテーマが多く取り上げられ、会員代理店の実務力向上に寄与しています。

